0302872HK7601

MITSUBISHI

三菱 店舗用 ロスナイ
全力セット形
形名

SKU-25AC・SKU-35AC
SKU-50AC・SKU-65AC

取付工事説明書

販売店・工事店さま用

取付工事を始める前にこの取付工事説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。
■この製品にはコントロールスイッチ他、別売のシステム部材が必要です。カタログ等によりご用意ください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。取付工事が終わりましたらこの説明書とともにお客さまに必ずお渡しください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

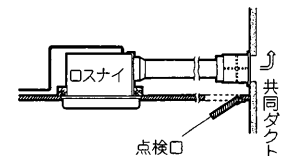
⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

表示	内容
分解禁止	**改造や必要以上の分解をしない** 火災・感電・けがの原因になります
浴室取付禁止	**浴室など湿気の多い場所には、本体・コントロールスイッチとも取付けない** 感電や漏電の原因になります
指示に従い必ず行う	**交流100V使用する** 間違った電源を使用すると、火災・感電の原因になります
指示に従い必ず行う	**外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ** 新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になるおそれがあります
指示に従い必ず行う	**本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う** 落下によりけがをすることがあります
指示に従い必ず行う	**端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する** 接続に不備があると火災のおそれがあります
指示に従い必ず行う	**配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う** 接続不良や誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります
指示に従い必ず行う	**漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する** 漏電した場合火災のおそれがあります
指示に従い必ず行う	**金属製ダクトがメタルラス張り・ワイヤラス張り・ステンレス板などの金属と、電気的に接続しないように取付ける** 〔電気設備の技術基準 解釈 第167条3項〕 接続されていると、漏電した場合、火災の原因になります

⚠注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

表示	内容
禁止	**高温（40℃以上）や直接炎があたったり、油煙の多い場所には取付けない** 火災のおそれがあります
禁止	**機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には取付けない** 絶縁劣化による漏電火災や故障の原因になります
禁止	**塩害・温泉害などの発生している場所には取付けない** 絶縁劣化による漏電火災や故障の原因になります
指示に従い必ず行う	**本体から室外側のダクトは室外に向かって下りこう配（1/30以上）になるように取付け、断熱処理を確実に行う** 雨水の浸入による漏電・火災や家財の損傷のおそれがあります
指示に従い必ず行う	**コントロールボックスカバーは施工後、必ず閉める** ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因になります
指示に従い必ず行う	**取付け後、長期間使用しない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切る** 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります
指示に従い必ず行う	**吊りボルト・ナット・ワッシャーは必ず指定のものを使用する** 強度の弱いものを使用した場合は、落下の原因になるおそれがあります
指示に従い必ず行う	**取付けの際は手袋を着用する** 着用しないとけがの原因になります

規　　制

●共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により、2mの鋼板立上がりダクトを取付けるか、システム部材(別売)の煙逆流防止ダンパーおよびその点検口を必ず設けてください。

●ジャバラの使用については、地区によって異なった規制を受ける場合がありますのであらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

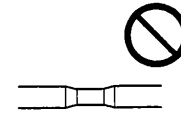
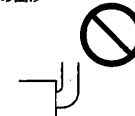
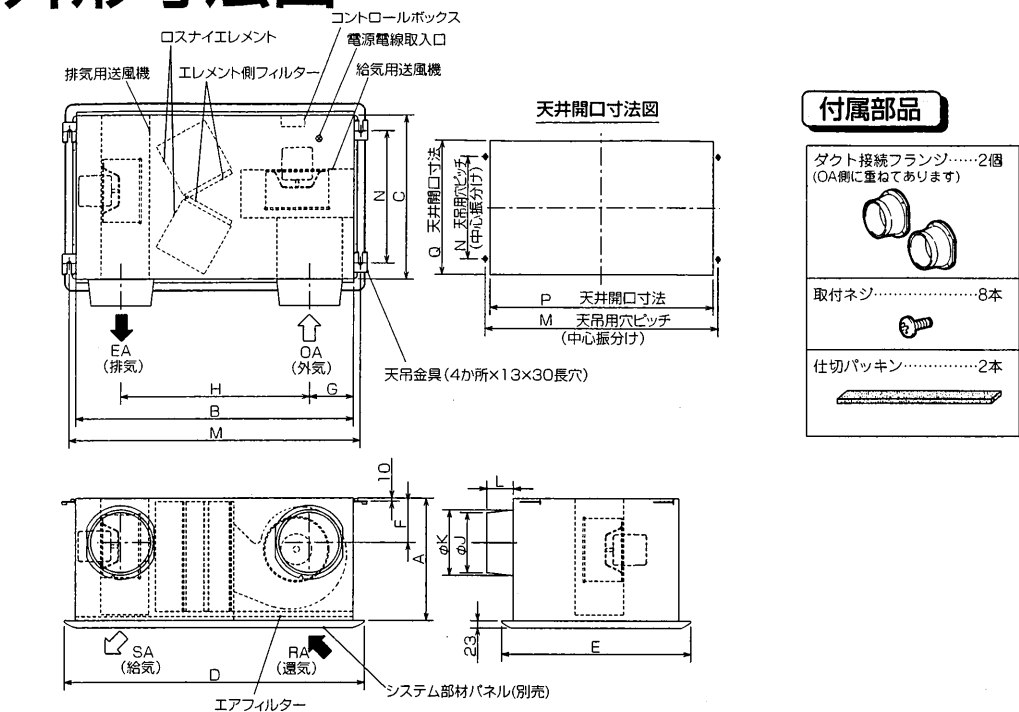
お　願　い

●天井材は共鳴しにくい材質をご使用ください。
●寒冷地あるいは風の強い地域では、運転停止時に外風が侵入することがありますので、給・排気ダクトの途中に電動シャッターを設けることをおすすめします。
●寒冷地域では製品を運転しない場合でも室内外の圧力差により外気が製品内に侵入したり、天井裏温湿度条件によっては本体表面およびダクト接続部が結露・結氷するおそれがあります。
断熱材の重ね貼り追加の工事を実施してください。
●給排気ダクトの先端には、雨水などの浸入を防ぐためのフード（システム部材：別売）などを取付けることをおすすめします。
●給気・排気が混ざらない配管工事を行ってください。
●給気側、屋外フード近くに窓面などがあり、照明光に虫が集まりやすい環境下でご使用の場合には、別売の虫侵入防止用部品(受注対応品)などを取付けることをおすすめします。
(室内給気へ小さな虫が侵入するおそれがあります)
●次のようなダクト工事はしないでください。
(風量低下や異常音発生の原因になります)

●極端な曲げ

外形寸法図

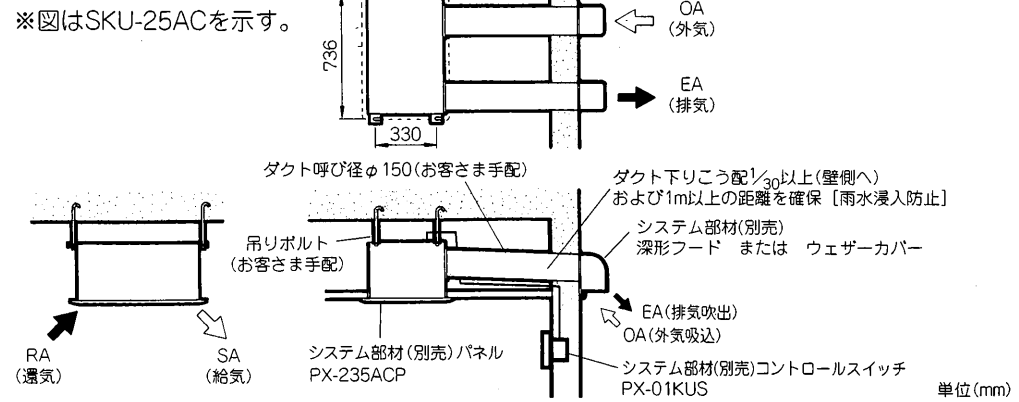
付属部品

ダクト接続フランジ……2個 (OA側に重ねてあります)
取付ネジ……………………8本
仕切パッキン……………2本

変化寸法表　　単位(mm)

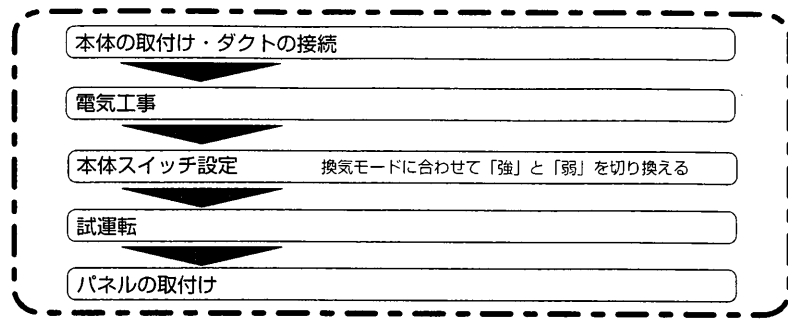
形名	製品外形			パネル外形		パイプガイド						天吊金具		天井開口		ダクト径	質量
	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	Q	(φ)	(kg)
SKU-25AC	318	690	430	763	506	111	130	465	142	160	70	736	330	720	460	150	14(本体のみ)
SKU-35AC																	14.5(本体のみ)
SKU-50AC	390	880	530	955	596	142	139	600	192	208	85	926	420	910	550	200	24.5(本体のみ)
SKU-65AC																	24.5(本体のみ)

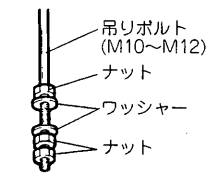
取付例

※図はSKU-25ACを示す。

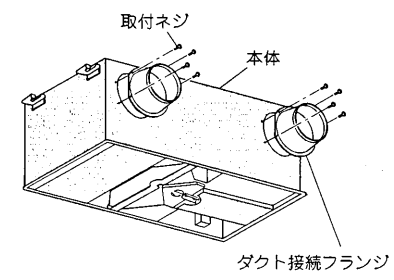
単位(mm)

取付方法

※図はSKU-25ACを示す。

■取付工事の流れ

本体の取付け

1

ダブルナットの取付け

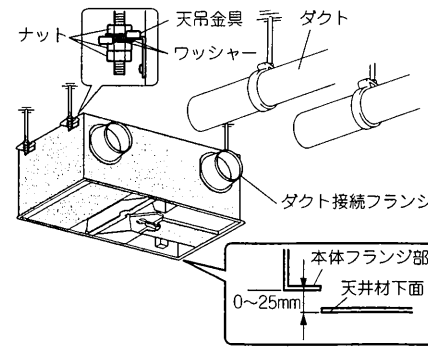
- あらかじめ埋込んである市販の吊りボルト(M10〜M12)に左図のように市販のワッシャー(外径M10で21mm以上、M12で24mm以上)・ナットを取付ける。

2

ダクト接続フランジの取付け

- ダクト接続フランジを付属の取付ネジで本体に取付ける。

お願い

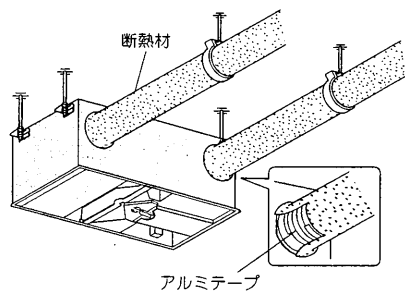
- ダクト接続フランジを取付ける前に本体内に異物(紙・ビニールなど)が入っていないことを確認してください。

3

本体の取付け

1. ダクト接続フランジをダクト配管側にして、天吊金具を吊りボルトに引っ掛ける。
2. 本体が水平になるよう調節してゆるみ防止のためダブルナットにて確実に締め付ける。

お願い

- パネル外枠(システム部材：別売)が上下に可動しますので天井面より本体下面までの長さが0〜25mmの範囲になるよう本体を固定してください。

取付方法 つづき

ー ダクト接続

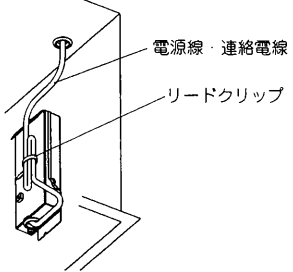
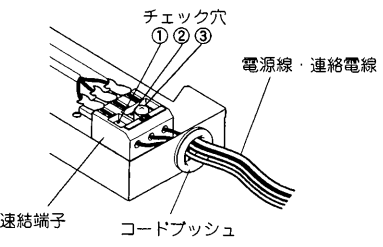
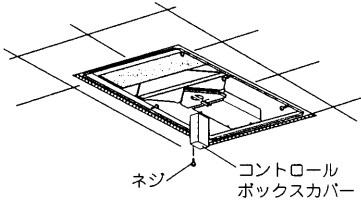
1.ダクト配管をする。
●壁の給・排気穴から本体までダクト配管をする。
2.給・排気ダクトをダクト接続フランジにしっかり差し込み、風漏れのないよう市販のアルミテープを巻き付ける。
3.ダクトはロスナイ本体に力が加わらないよう天井から吊る。
4.ダクト・ダクト接続フランジ部分は必ず結露防止のため断熱処理を施す。

お願い

● ダクト接続をする前にダクトの中に切り粉、異物(紙・ビニールなど)が入っていないことを確認してください。

ー 電気工事

⚠警告	●交流100Vを使用する 間違った電源を使用すると、火災や感電の原因になります
	●配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります ●端子台接続部は指定の電線を使用して、抜けないよう確実に接続する 接続に不備があると火災のおそれがあります

■運転にはシステム部材(別売)のコントロールスイッチ(PX-01KUS)が必要です。

1.配線をする。
●電源線·連絡電線にはφ1.6の単線(例VVF)を使用してください。
●本体取付位置より2mの余裕をもって配線してください。

2.コントロールスイッチ(システム部材:別売)に同梱の取付工事·取扱説明書に従ってコントロールスイッチを取付ける。

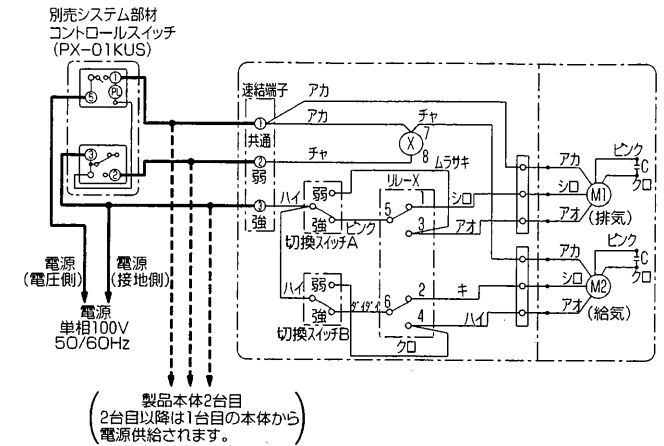
3.本体の速結端子に結線する。
(1)ネジ(1本)をはずしてコントロールボックスカバーをはずす。
(2)電源線およびコントロールスイッチとの連絡電線を電源コード取り入れ口から本体内へ引き込む。
(3)電源線·連絡電線の先端をゲージに合わせて皮むきする。
(4)コードブッシュを通して各線を速結端子に接続する。(結線図参照)
●この際"100V専用"と書かれた銘板をはがす。

お願い

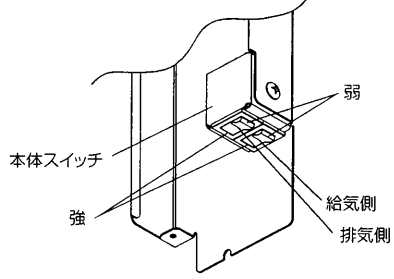
● コントロールボックスカバーを取付ける前に結線に間違いがないことをテスターで確認してください。
確認方法
【1】コントロールスイッチの電源スイッチを「入」にし、風量切換スイッチを「弱」にする。
【2】チェック穴(左上図参照)の①-②、①-③にテスターを差し込み、ほぼ0Ωでないことを確認する。
(5)本体スイッチ設定を行う。(本体スイッチ設定参照)
(6)結線後、軽く引っ張って抜けないことを確認し、コントロールボックスカバーを元通り取付ける。
(7)結線に力が加わらないように、コントロールボックスカバー外側のリードクリップで電源線を束ねる。

この際に電源電線が電源取入口まで500mm程度の余裕をもたせて束ねる。(電源線に余裕がないとメンテナンスができなくなります)

■結線図 ※太線および破線部分を結線する。 漏電保護用に電源側に漏電ブレーカーを設けてください

●ロスナイとコントロールスイッチ間および複数台運転のロスナイ間の配線長合計は、100m以内としてください。(誤動作するおそれがあります)

■複数台運転について

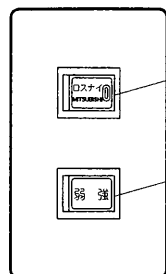
この製品は、コントロールスイッチ1個で同時に下表の同一機種複数台運転ができます。

形名	台数
SKU-25AC	10
SKU-35AC	8
SKU-50AC	5
SKU-65AC	3

ー 本体スイッチ設定

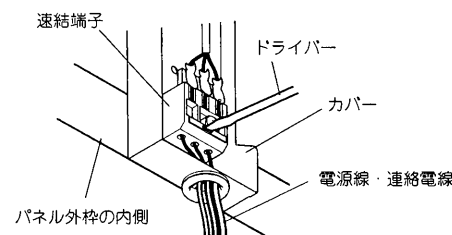
コントロールボックス内の本体スイッチの設定を行う。
※工場出荷時は給気側、排気側ともに「強」に設定されています。

コントロールスイッチ	換気モード		給気風量	排気風量	本体スイッチ設定※(給気側)	本体スイッチ設定※(排気側)	使用用途
強	施工時に1モード選択	パワー給排気	強	強	強	強	●店内の混雑時 来店人数に応じた効率的な換気ができ、最適換気量を確保できます。
		パワー給気	強	弱	強	弱	●店外からのちり、ほこりを防ぎたいとき 給気量が排気量に対し多いため店内を正圧に保ち、ちり、ほこりの侵入を防ぎます。 ●給気不足のとき 厨房と客席が隣接していて慢性的な給気不足を補います。
		パワー排気	弱	強	弱	強	●臭いや煙を素早く排気したいとき 排気量が給気量に対し多いため店内を負圧に保ち、臭いや煙を拡散せず効率的に排気できます。
弱	省エネ換気		弱	弱	本体スイッチに関係なく給気、排気ともに「弱」になる		●店内が混み合っていないとき 給気量と排気量を「弱」にし、換気によるロスを最小限に抑え、省エネ換気を実現します。

試運転

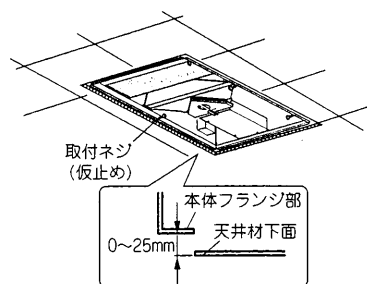
本体の取付工事終了後、結線が間違っていないか確認して試運転を行う。

電源スイッチを「入」にし、風量切換スイッチを「強･弱」に切り換えたときロスナイの給気/排気の風が強･弱に切り換わるか、また換気モードが正しく設定されているか確認する。

- 本体スイッチ(給気側/排気側)をどちらでも「弱」に設定すると風量は弱ノッチに固定されます。

誤結線等により速結端子より電源線・連絡電線を抜く場合、以下の要領で抜くようにお願いします。

(1)電線をリードクリップからはずす。
(2)カバーを左図のようにパネル外枠にあてる。
(3)速結端子の白い部分をマイナスドライバーで押しながら電源線･連絡電線を引き抜く。
●この際、速結端子が滑らないように注意してください。

パネル(システム部材:別売)の取付け

天井板を張り、天井開口寸法図(外形寸法図参照)に従って開口部を設ける。
詳しい取付方法はシステム部材(別売)のパネルに同梱の取付工事説明書を参照してください。

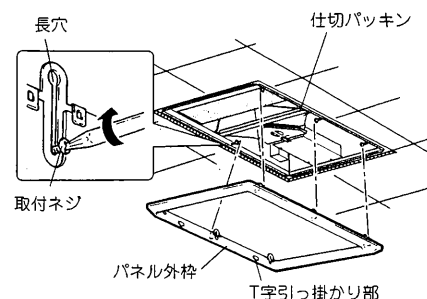
■パネル外枠の取付け

1.パネル内枠の開き方向に空間があるかを確認し、開く方向を決める。

お願い

- パネル外枠の引っ掛かり部(T字)は一方向にしかありません。開く方向を確認して決めてください。

2.パネルに付属の取付ネジ6本のうち4本を図の位置に仮止めする。SKU-50AC・65ACの場合は取付ネジ8本のうち6本で仮止めする。
(落下防止用ワイヤーと共締めする両端のネジ2本は

後で取付けます)

長穴
仕切パッキン
取付ネジ
パネル外枠
T字引っ掛かり部

3.パネル外枠を本体内に入れ取付調整用の長穴を仮止めした取付ネジに引っ掛ける。
4.パネル外枠を押し上げ全周が天井面に密着する位置で、仮止めした取付ネジを増締めして固定する。
(パネル外枠は0~25㎜の範囲で可動します)

付属の仕切パッキンを次の要領で貼り付ける。

パネル外枠の可動範囲	使用本数
0~ 5mm以下	0本
5~15mm以下	1本
15~25mm以下	2本

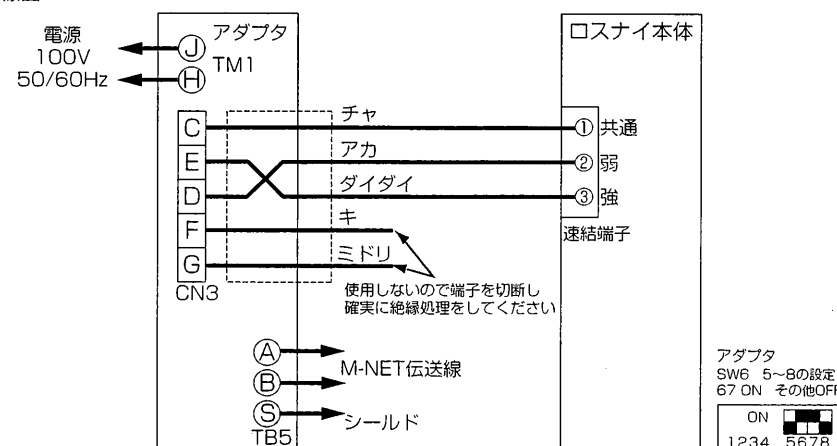
- 上記の使用本数を本体の中央部にある仕切パッキンの上へ重ね貼りをする。

■パネル内枠の取付け

詳しい取付方法はシステム部材(別売)のパネルに同梱の取付工事説明書に従ってください。

システム部材(別売)
フリープランアダプタ【PZ-53ADF】使用の場合

集中管理システム等でフリープランアダプタ使用の場合はフリープランアダプタの取付工事説明書に従って取付けてください。

■結線図

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話 0573-66-2111